



団 体 名	みどりワクワクチーム
代 表 者 名	中西 由美子
連 絡 方 法	みどりワクワクチーム in 日野(facebook のグループ) <a href="https://www.facebook.com/groups/1008756020526715">https://www.facebook.com/groups/1008756020526715</a> にメッセージ
団 体 案 内 (目的・趣旨)	<p>昭和初期までは、燃料や用材として活用されてきたため、木が常に更新されてきました。材として活用することで、雑木林は若返り、CO2 の吸収量を上げたり、生物多様性を豊かにしたり、景観的にも明るい森を維持することにつながります。</p> <p>現在、市内の雑木林は、使われなくなったコナラ・クヌギなどの木が大きくなりすぎて台風の被害で倒れたり、ナラ枯れ病などの被害も出てきています。そこで私たちは、市内の緑地を調査し、新しい活用法を探ることを目的に活動を始めました。</p> <p>たとえばスウェーデントーチとしての活用もその一つのアイデアです。伐採したら処分費が掛かりますが、スウェーデントーチを制作することで、アウトドアブームにもマッチした活用ができると考えています。</p> <p>実際に試したり、他にどんな活用ができるか、どう運用していけばよいのか、市内で活動しているみどり関係の団体の皆さんとお話しながら実行に移していけたらよいと考えています。</p>
設 立 年	2021 年
主 な 活 動 内 容	<p>1.市内の市所有の緑地を調査し、管理計画を立て、緑地の管理・活用を進めていくこと。  市が所有している市内の緑地を、よりよく管理・活用することを目指し、現状を把握するためにまず緑地調査を実施しました。調査が終わり、今は緑地の活用タイプを分類し、活用方針を考えるとともに、整備のできる場所から手を入れていこうと準備しています。</p> <p>2.日野市内の緑地で生まれる木材や竹材の活用を進めていくこと。  市内の緑地の木や竹を生活の中で材として活用することで、適切な植生管理を行っていくことを目指しています。保全活動団体の協力を得て、材を確保し、イベントでの活用などにより普及を図っていきます。 写真:スウェーデントーチ</p>  
主 な フ ィ ー ル ド	日野市の緑地
活 動 日	月に 1～2 回、都度日程を調整してミーティングと野外での活動をしています。
会 員 数	10 名程度
募 集	興味ある人に活動に入ってもらう方式
そ の 他	—
自 由 記 載	—